

東北花の名山 2 座へ 神室山・焼石岳

実施日 2023年6月30日(金)～3日(月)
 天候 晴れ・曇り
 リーダー 峯川 弘子
 参加者 遠井謙策・中村友子・徳山敬子
 ・峯川弘子 計4名
 費用 交通費：JR東日本パス
 15,270円 食 3,800円
 宿泊費 28,140円/3泊
 タイム 【神室山】

宿(食 6:50-7:18)西ノ又コース
 入口(7:40)三十三尋の滝(9:27)
 パノラマコース分岐(12:52)神
 室山山頂(13:24-13:50)神室ダ
 ム分岐(14:18)二股(16:35)有
 屋登山口(18:35)宿(18:46)

【焼石岳】
 宿(食 5:20-5:40)中沼登山口
 (5:49)中沼(6:39)つぶ沼分岐
 (7:54)銀名水(8:28-35)姥石
 (10:17)焼石岳山頂(10:50)泉
 水沼(11:13-11:30)銀名水避
 難小屋(13:00-13:15)中沼登
 山口(15:00)宿(食 15:25)入浴
 ・宿送迎車で水沢江刺駅へ

【6/30】 東京駅からJR新幹線で大曲駅、
 JR奥羽本線に乗り継ぎ4時間半かけ
 横堀駅に到着、雨が降ってきた。
 翌朝雨がひどければ登山は中止で
 温泉巡りということでき取りあえず
 早めに就寝。

【7/1】 夜中に雨音が聞こえて
 いたが目覚めるとやんでいた。支
 度している間に薄日もさしてきた、
 ラッキー！タクシーで登山口
 へ。登りは沢沿いの西ノ又コース。

湿って鬱蒼とした林道を（熊鈴
 と笛を忘れて反省）歩くと沢沿い
 らしい渡渉が始まった。マーキン
 グに沿って滑らないように慎重に



岩を両手でつかみ、
 ながらす、ストック
 た渡渉、真剣に選ば
 ない、ボンをひき、

絶対に避け、た、い、～(笑)沢、か、ら、離、れ
 ても崩れて、落、ち、そ、う、な、崖、沿、い、の、悪、す
 路、り、ト、ラ、口、プ、を、つ、か、ん、で、通、過、す
 降、り、言、葉、ま、た、一、渡、を、全、員、口、か、ら、発、だ
 る、言、葉、は、は、こ、こ、の、な、い、で、休、止、し、け、ら
 ば、三、進、む、と、よ、う、な、滝、や、大、沢、中、へ、離、ホ
 進、む、と、よ、う、な、滝、や、大、沢、中、へ、離、ホ
 む、と、よ、う、な、滝、や、大、沢、中、へ、離、ホ
 む、と、よ、う、な、滝、や、大、沢、中、へ、離、ホ



を、し、な、が、ら、登、っ、て、い、が、現、続、見、が、あ、続、
 む、ら、ソ、ウ、の、群、生、は、続、見、が、あ、続、
 コ、ー、ス、が、ん、ば、ら、に、急、登、は、続、
 と、う、喜、ぶ、が、尾、根、分、岐、に、到、
 う、着、そ、こ、な、花、畑、特、に、み、な、登、
 で、広、大、な、ウ、の、群、生、待、ち、と、登、
 が、ら、黒、い、動、く、物、体、の、谷、下、の、方、向、に、何、ん
 や、こ、ん、な、所、に、犬、が、い、る、の、が、な、い、状、況、の、
 は、一、度、は、一、瞬、で、脳、が、反、応、し、と、恐、怖、で、降、
 か、立、ち、す、く、ん、で、し、ま、っ、た、後、続、山、頂、の、直、下、怖、
 り、し、大、声、を、出、し、な、い、危、険、な、岩、場、先、ホ、ッ、ス、
 の、地、図、怖、く、な、い、頂、流、食、力、一、つ、か、し、た、(笑)下、ノ、山、崩、
 の、よ、り、怖、く、な、い、頂、流、食、力、一、つ、か、し、た、(笑)下、ノ、山、崩、



山、道、が、黒、い、動、く、物、体、の、谷、下、の、方、向、に、何、ん
 や、こ、ん、な、所、に、犬、が、い、る、の、が、な、い、状、況、の、
 は、一、度、は、一、瞬、で、脳、が、反、応、し、と、恐、怖、で、降、
 か、立、ち、す、く、ん、で、し、ま、っ、た、後、続、山、頂、の、直、下、怖、
 り、し、大、声、を、出、し、な、い、危、険、な、岩、場、先、ホ、ッ、ス、
 の、地、図、怖、く、な、い、頂、流、食、力、一、つ、か、し、た、(笑)下、ノ、山、崩、



は、有、屋、口、危、険、い、っ、ぱ、い、の、西、言、い、も、崩、
 が、一、ス、と、は、お、さ、ら、ば、だ、の、コ、ー、ス、崩、
 落、個、所、の、急、下、降、渡、渉、

の繰り返し、最後の最後まで冷や
汗で気が抜けない悪路でした(笑)
頂上で時間変更した宿の送迎車
さらに40分待たせてようやく下
山。神室山の神様ごめん！
ナメてました、参りました～！！

【7/2】 昨夜の打ち上げで頭が
ボーっとしているが(笑)今日は移
動日、遠井さんとここで別れ、
宿の送迎車で新庄駅へ。店がない
水沢江刺駅のひと駅手前の一ノ関
駅で新幹線下車、こういう自由も
JR東日本パス利用ならでは？事前
リサーチのお蕎麦屋さんには今日
もう蕎麦が売り切れ、がっかりし
ながらもソースかつが名物らしい
和食店へ。昼間から三ババはソ
スカツ、冷奴、枝豆をおつまみに
中で乾杯！もうおやじの域？(笑)
い気分で新幹線で水沢江刺駅へ、
送迎車で今夜の宿へ向かう。

【7/3】 今日の中村、峯川2名で
焼石岳へ、荷物をデポし~~合~~で出
発。中沼登山口に到着すると山頂
はガスの中。歩き始めは中沼の周
りに沿って木道を歩き徐々に傾
斜、両側には咲き終わったミズバ
ショウの巨大な葉がっばい。登
山道は全般に水が流れる石ゴロ
川の道、サクサクは歩けない。追
い越ししていった登山者の数。名



靴底がしっかきりしい
た長靴を履いてい
た理由がわかつ
た。避難小屋泊ま
りて早々と下山
てきたご夫婦が、早朝5時半に頂
上へ向かったが雪がガチガチに
凍っていて危険なので撤退して
たとのこと、でも花は十分楽しめ
ますよと教えてくれた。しまった、
アイゼンは持っていない、撤退
ありか？話しながらすすむと上
手前から花がっばい、大雪で背
の低いシャクナゲやなんと紫のア

ヤメ、ミズバショウも！銀名水に
到着し小休止、美味しい水では
潤し、つぶ沼分岐。そこからは
ズバショウ&花のコーポ。そして



雪渓、日が出ては傾
うだが右側は傾
斜、滑り落ちない部
よう凍っている部
分を避けストックで雪をくずし
がらつぼ足でゆっくり通過、下
は気をつけよう。そこからさら
チングルマ、イワカガミ、見事
お花畑、これはツバメオモト？
ノエラン？(CLは何が何やらま
たくわからない笑)写真を撮り
アプリで調べながら進むとガ
山頂直下にはウスユキソウの群
生、本当に花の



名山だ。ようやく
く山頂にたどり
着くと爆風状
態、ストックで
ささえても飛
されそう。なんと
か写真をお願い
し三角点にタッ
チ、ソッコー下
山。風が弱い泉
水沼のベンチ
喜び早めのラ
ンチ休憩。東
焼石岳への分
岐で花畑を見
に行くか迷っ
たが強い風と
時間を考慮し
は又来ていい
よ！今回はこの
まま下山。

今回の2座は地図の時間通りには
とても歩けないことを実感した山
でした。参加者の皆様大変お疲れ
さまでした。梅雨真っ只中、運よ
く2座を登ることができ思い出に
残る山行になりました、ありが
うございませ

(記&写真・峯川 弘子)

(写真提供・中村 友子)